

はじめに

2年に1回実施しております「市政世論調査」は、昭和48年に第1回目の調査を開始して以来、今回で27回目となりました。

この調査は、市のさまざまな施策について市民の皆さんからご意見をお聞きし、その結果を今後の市政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため実施しております。

近年は、全国各地において、異常気象により自然災害が局地化・激甚化し、瞬く間に大災害に繋がる状況が発生しております。そういった状況に危機感をもって対応していく必要があります。本市におきましては、市民の生命、身体および財産を守るための「防災対策の推進」や、激甚化、頻発化する豪雨による浸水被害の軽減を図るための「治水対策の推進」に取り組み、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また、「子育て・教育は稲沢で！」をスローガンに、子育て・教育の充実を地域社会全体で取り組む最重要課題として位置付け、妊娠、出産、子育て、教育を切れ目なく支援することによって、すべての子どもが健やかに成長できるまちの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

いつ何が起こるか分からない不安な時代であるからこそ、市民の皆さんに寄り添い、幸福（しあわせ）を感じていただけるよう、「人にやさしく活力あるまちづくり」の実現に向け、市民生活や地域経済への必要な支援を継続しながら着実な歩みを続けてまいりたいと考えております。

今後とも稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

最後に、ご多用の中、本調査にあたりご協力いただきました多くの市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

令和6年12月

稲 沢 市